

11月11日、町戦没者追悼式が中央公民館で遺族をはじめ関係者ら約360人が参列し、しめやかに行われました。この追悼式は、祖国のために若き命を捧げた300余名の町内戦没者に対し、町民を挙げて追悼の誠を捧げるため、菊薫るこの時期に毎年実施しています。

恩田町長は式辞で、「悲惨な歴史を繰り返すことのないよう平和の尊さを後世に引き継いで行くことが、何よりの慰霊ではないか」と述べました。



悲惨な歴史を繰り返すことのないように

11月23日、第24回ボランティア連絡協議会主催の福祉バザーが、中央公民館で行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

この福祉バザーは、全世帯に寄附を呼び掛けて、町民の皆さんから寄せられた、衣類や、日用品、野菜、食品などの3、349点が市価よりも安く販売されるため、大盛況となりました。バザーの売上金は、全額町の社会福祉協議会に寄附され、在宅福祉資金として活用されます。



福祉バザー大盛況！

このほど、ふるさと産業文化館ホールで、明和吹奏楽部の第7回定期演奏会が開かれました。

演奏会では、県吹奏楽コンクールで銀賞に輝いた演奏曲のほか、アンサンブル、アニメ音楽など幅広い曲目を組み合わせて計10曲を3部構成で披露。演奏会を支える保護者や同部OBらの大勢の応援を受け、ステージに立った部員らは、日ごろの練習の成果を精一杯演奏。客席から盛大な拍手を送られていました。



銀賞に輝いた曲を披露